



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KNOCKS星川	階数	地上6F
建設地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川一丁目141番3, 161番6, 246番47, 254番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年7月6日
敷地面積	2,942 m ²	作成者	川関 拓郎
建築面積	1,097 m ²	確認日	2021年7月6日
延床面積	4,518 m ²	確認者	川関 拓郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・建築材料は全般的にF☆☆☆☆のものを使用した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・界壁は遮音性能Dr-50を確保。	・1階高4.5m、2階3.3mとし、将来更新性も高い計画とした。 ・主要な居室の天井高さ2.4mを確保した。	・境界フェンスは見通しのよいメッシュフェンスとし、防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・[BEI][BEIm] = BEI: 0.86 (住宅部)、0.78 (非住宅部)	・節水型便器を採用した。	・ガラス手摺を乳白フィルム入り合わせガラスとした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **KNOCKS星川**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **22** %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2021年7月6日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEI: 0.86(住宅部)、0.78(非住宅部)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪換気計画: 台所・便所等の汚染物質を適切に処理、加えて各居室で必要な換気量を確保

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **KNOCKS星川**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **14** %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2021年7月6日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEI: 0.86(住宅部)、0.78(非住宅部)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥建築材料は全面的にF☆☆☆☆のものを採用した。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

KNOKS星川

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						-		-	2.3
Q1 室内環境						0.40			2.8
1 音環境					1.9	0.15	2.4	1.00	2.2
1.1 騒音					1.0	0.48	1.0	0.50	-
1.2 遮音					2.9	0.48	3.9	0.50	-
1.2.1 開口部遮音性能					3.0	0.92	5.0	0.30	-
1.2.2 界壁遮音性能					2.0	0.08	4.0	0.30	-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音					1.0	0.04	-	-	-
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御					3.0	0.63	3.0	1.00	-
2.1.1 室温			快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.57	3.0	0.63	-
2.1.2 外皮性能			快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.34	3.0	0.38	-
2.1.3 ゾーン別制御性			快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.08	-	-	-
2.2 湿度制御			快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.3 空調方式			快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
3 光・視環境					2.6	0.25	1.7	1.00	2.1
3.1 昼光利用					2.4	0.32	2.5	0.30	-
3.1.1 昼光率			快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.57	2.0	0.50	-
3.1.2 方位別開口			快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-
3.1.3 昼光利用設備			快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.43	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策					3.0	0.29	1.0	0.30	-
3.2.1 昼光制御			快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	1.0	1.00	-
3.3 照度			快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.14	3.0	0.15	-
3.4 照明制御			快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	1.0	0.25	-
4 空気質環境					3.5	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策					4.0	0.58	4.0	0.63	-
4.1.1 化学汚染物質			快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気					3.0	0.38	3.0	0.38	-
4.2.1 換気量			快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.47	3.0	0.33	-
4.2.2 自然換気性能			快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.06	3.0	0.33	-
4.2.3 取り入れ外気への配慮			快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.47	3.0	0.33	-
4.3 運用管理					3.0	0.04	-	-	-
4.3.1 CO ₂ の監視			快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御			快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.8
1 機能性					2.4	0.40	3.8	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	-
1.1.1 広さ・収納性			快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.06	-	-	-
1.1.2 高度情報通信設備対応			快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.06	5.0	1.00	-
1.1.3 バリアフリー計画			快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.88	-	-	-
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	-
1.2.1 広さ感・景観			快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.08	3.0	0.50	-
1.2.2 リフレッシュスペース			快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.07	-	-	-
1.2.3 内装計画			快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.85	1.0	0.50	-
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計			快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保			快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性					2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
2.1.1 耐震性			防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2.1.2 免震・制振性能			防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					2.6	0.30	-	-	-
2.2.1 躯体材料の耐用年数			防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	1.0	0.20	-	-	-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔			防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔			防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔			防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					2.4	0.20	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備			防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備			防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
2.4.3 電気設備			防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.4 機械・配管支持方法			防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備			防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性					2.9	0.30	2.2	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり					2.0	0.07	1.4	0.50	-
3.1.1 階高のゆとり					2.0	0.60	1.0	0.60	-
3.1.2 空間の形状・自由さ					2.0	0.40	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.07	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性					3.0	0.87	-	-	-
3.3.1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3.3.2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3.3.3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
3.3.4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
3.3.5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3.3.6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	-

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 3-037



CASBEE横浜2017年版v.1.7

KNOCKS^{星川}

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	-	1.1
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり		⑳地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ		⑭敷地内温熱環境の向上	1.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの効率化	省エネルギー性能		③設備システムの効率化	4.4	0.50	-	-	-	-	4.4
4 効率的運用				2.7	0.20	-	-	-	-	2.7
4.1 モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用	2.0	1.00	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	-	2.6
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.20	-	-	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤				2.0	0.33	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮				2.0	0.33	-	-	-	-	2.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				2.3	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 悪臭				1.0	0.33	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制				1.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制				2.6	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				2.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				4.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策	健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心		⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-	-	-